

令和6年度春日市立春日南中学校学校経営要綱～10年後を生き抜く逞しい人間力の育成～

1 学校経営の基本構想

(1) 学校経営の基本や基盤

- ◆公教育としての学校（国民としての自覚と責任を涵養する教育）
- ◆夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力を育成する学校（夢追人を育成する教育）
- ◆学校、家庭、地域で共育を推進する学校（学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進）
- ◆社会の現状や2030年以降を踏まえた教育活動を推進する学校（地域参画を通じた地域の担い手づくり）



- ① 教育基本法や関係諸法規、中学校学習指導要領、「『令和の日本型教育』の構築を目指して」、福岡県教育施策・春日市教育施策に則った教育を行う。
- ② コミュニティ・スクールとして、現代社会の要請並びに保護者や地域の要望等について、生徒の実態に応じ、それぞれの願いの具現化をめざす。**地域コーディネーター、地域学校協働本部の組織化と実働化**
- ③ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を基盤とし、思考力・判断力・表現力の育成を図り、**学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性を涵養する。**
- ④ 多様な価値観や文化で構成されている社会において、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と責務を行使し、多様な関係者とアクティブに関わろうとする資質・能力を育成する教育活動を創造する。**（地域貢献から地域参画への転換）**
- ⑤ 春日南中学校区の学校・家庭・地域が一体となって生徒を育成するコミュニティ・スクールを推進し、互いの双方向の関係構築に努め、**社会に開かれた教育課程を創造する。**
- ⑦ **カリキュラム・マネジメント（教科横断的な教育活動推進・PDCAサイクルの確立を通じた学校改善・人的物的資源の活用）**の推進を通して、社会に開かれ、**社会を開く教育課程を創造する。**
- ⑧ **福岡県重点課題研究指定2年目として「居場所づくり」と「絆づくり」を中核に据えた生徒指導・支援体制の充実を図る**

(2) 学校教育目標

<学校の教育目標>

総合的な人間力を培い、地域の担い手となる生徒の育成

—地域貢献から地域参画への転換—

【校訓】 「剛健」（知識を知恵に転換出来る生徒）「誠実」（我々の世界を考え行動する生徒）
「創造」（失敗を恐れず果敢にチャレンジする生徒）

<総合的な人間力とは>

総合的な人間力とは、「学力」「心力」「**キャリア形成力**」を基盤として「夢追人として、どんな困難にも継続した努力で挑戦する力」や「他者との適切な関係を築き、個性を発揮し、自己実現を図りながらよりよい社会づくりに関わる力」を有した人間力である。

<春日南中で育成する資質能力>

- 人間関係調整能力：自分も他人も大切にする力
- コミュニケーション力：傾聴する力、説明する（伝える）力
- 地域参画力：地域課題の解決策を考え発信する力
- 社会認識力：よりよい社会を目指して行動する力

<令和6年度春日南中学校教育推進テーマ>

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進
－「我的世界」から「我々の世界」を生きる市民性の育成をめざして－
<生徒スローガン>

みんなで一緒に「夢」を追いかけてみないか？

(3) 具体的目標

①目指す生徒像

- 知識及び技能を習得し、思考力、判断力、表現力を向上させ、学びに向かう力、人間性が涵養された生徒【学力】
(目標) 各種検査1年53・2年53・3年55
- 自他を大切に、思いやりの心を実践し、**よりよい社会づくりに関わろうとする生徒**【心力】
(目標) 学校評価「心力」に関する評価4、3の割合60%以上・不登校出現率5%以下
- 夢や目標に向かって、どんな困難に対しても、**失敗を恐れずにチャレンジし続ける生徒**【キャリア形成力】
(目標) 学校評価「キャリア形成力」「地域参画」に関する評価4、3の割合60%以上

②目指す学校像

- 「**居場所づくり**」と「**絆づくり**」の**一体的な充実を目指す学校**
- 生徒と職員が師弟同行しながら**総合的な人間力を向上させる学校**
- 「何が出来るか」「何をしなければならないか」を考え、**失敗を恐れずにチャレンジする学校**
- 礼節や謙虚さを大切に、地域に貢献し、**地域づくりに積極的に参画する学校**

③目指す教師像

- 人権感覚をもち、生徒一人一人の可能性を大切に、**厳しさの中にも優しさのある**、教育愛にあふれる教師
【実践的指導力】
- 協働**して教育課題の解決を図り、職能成長の意欲や**使命感**にあふれる教師【協働性・使命感】
- 教育公務員として職責を自覚**し、生徒や保護者、地域から信頼される教師【服務規程の遵守】

④目指す家庭像

- 子供が自立できるように、**基本的な生活習慣を確立**させ、子供とコミュニケーションをとりながら成長を見守り、励ます家庭
- 学校・地域と連携・協働し、社会の変化に主体的に対応しながら子供とともに伸びゆく家庭

⑤目指す地域像

- 子供が地域・社会の担い手となるよう、**地域の中で社会道徳と共助の精神を涵養**し、自己有用感を高揚させる地域
- CSとして学校・家庭と連携・協働し、双方向の**win winの関係づくり**を推進する地域
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を目指す地域**

(4) 自校の教育課題、経営課題、解決のための具体的方策【経営の重点】

① 教育課題

ア いじめ、不登校の防止について

<いじめに関する共通認識>

- 1 「弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない」との強い認識をもつこと。
- 2 いじめられている子供の立場に立った親身な指導を行うこと。
- 3 いじめは家庭教育の在り方に大きな関わりを有していること。
- 4 いじめの問題は、教師の児童生徒観や指導の在り方が問われる問題であること。
- 5 家庭・学校・地域社会の全ての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって真剣に取り組む。

<不登校に関する共通認識> **不登校出現率5%以下**

- 1 生徒が不登校に陥ったら、それ以上学校は手立てがないことを認識する。**(不登校になった時点で学校の敗北)**
- 2 不登校を生まない学校づくり、生徒の拠り所となる学校づくり、学校に来たくなる学校づくり
- 3 不登校対策委員会を中心に解決への具体的方策を明確化させ全職員でいじめ、不登校の未然防止に努める。
- 4 **FF調査、BPSモデル活用、学校生活アンケート、いじめアンケート、教育相談の確実な実施。**
- 5 不登校対策専任教員、SC、SSW、通級、マイスクール子育て支援課、児童相談所、スクールサポーターとの積極的、円滑な連携を推進する。

イ 学力の向上について 各種検査1年53・2年53・3年55

○教師一人一人が学力実態を把握して、日常的な授業改善を通して学力向上を図る。

<研究推進委員会>

①個別最適な学びと協働的な学びの推進

「ステーション授業構想」「セルフ学習」等による対話的な学びの充実

<授業改善の視点>

- ①育成すべき資質能力の明確化（知識技能・思考判断表現・主体的に学ぶ態度）
- ②ICTの積極的活用（ツールとしての活用）、ICTを活用した授業と家庭学習の接続
- ③公開授業の実施
- ④学力向上プランの具現化

<各教科部会>

①定期考査問題の改善（思考力、判断力、表現力の4割出題）

②授業と家庭学習の接続の在り方の究明

<学年部>

- ①生徒の基礎学力を確実に向上させる確かな方策の明確化と実践
- ②各種テスト結果から、学年としての課題解決策の設定と達成目標の明確化
- ③自動採点システム「百問繚乱」の導入による業務改善と個に応じた学力分析の実施

ウ 心力の向上 学校評価「心力」に関する評価4、3の割合60%以上・不登校出現率5%以下

○考え議論する道徳の授業実践（「君ならどうする？」を重視した道徳の学習への転換）

○生徒の「居場所づくり」「絆づくり」につながる学校・学年行事、生徒会活動の充実

○人権感覚を育む人権教育の推進

エ キャリア形成力の向上 学校評価「キャリア形成力」「地域参画」に関する評価4、3の割合60%以上

○3年間を見通したキャリア教育の推進（積極的な直接体験の場の充実）

○全教育活動を通して基礎的、汎用的能力である「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成

○「なんちゅう未来学」充実実践

○地域行事への積極的な参加（春日市クリーン作戦参加生徒70%以上）

オ その他

①特別支援教育の充実推進（特別支援教育を全教師で推進する体制確立）

②生徒の安全管理に関する指導の推進（外部講師の積極的な招聘による学習の実施）

②経営課題

ア 主任・主事の組織マネジメント力の強化

○学校組織のラインとスタッフ機能を強化させ、主任主事によるミドルアップダウンマネジメントを推進する

イ 教科担任、学級担任としての生徒理解力、授業実践力の強化

○生徒理解の視点に立つ教師の姿勢、態度を通じた個別最適な学び、協働的な学びの推進

ウ 小学校、家庭・地域との連携強化

○児童生徒の自己有用感や自己肯定感を向上させる教育活動を推進し、9年間を見通した共育の推進

エ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の充実、進化

○学校経営構想図参照

③課題解決のための具体的方策

ア 教育課程の改善

○「総合的な学習の時間」や特別活動の単元の始めに目的意識を持たせる工夫、生徒自ら考え、自ら学ぶための支援、単元の見直しを持たせる工夫、単元末に探究結果の発表（表現活動）・評価の場を設定するなど、教科横断的な教育活動のカリキュラム編成を改善する必要がある。（思考力、判断力、表現力の育成）

「総合的な学習の時間の年間計画」改編2年目の挑戦（別途資料にて説明）

①「総合的な学習の時間」の学習内容の見直し

「なんちゅう中未来学」の充実→自分自身を深掘りしよう（1年）自治会長との大討論会（2年）

春日市議会にアタック（3年）

イ 校務分掌組織・学年組織の改善と組織運営の機能化

- 学校・学年組織を機能させる**報告・連絡・相談の徹底**と**協働での指導・支援**の徹底
- 教育課程部を中心とした学校行事や総合的な学習の時間における**自己有用感を高揚**させる**単元構成**と評価

ウ 教職員の人材育成

- 目標設定及び見直しを持たせ、「**目標の達成**」までの**過程の評価**を重視し、教職員一人一人のよさの伸長を図る
- 教科学習における「違和感と憧れ」**を持たせる**導入段階の工夫**、**授業の振り返りの完全実施**
- 管理職等による授業参観及び生徒授業評価の結果を基にした**授業改善の実施**
(基本的な授業技術及び主活動の手順説明の時間短縮と主活動、授業のまとめについて)
- 発達支持的生徒指導の推進**、**生徒の理解・支援のための校内研修**の実施
- 教育公務員・社会人としての基礎・基本を高める**校内OJT**、「**春日南中出稽古制度**」の実施
- 体罰によらない生徒指導**、生徒とのより良い人間関係を築き、生徒の自己指導能力を高める指導、保護者との信頼関係を築く接遇の対応、アレルギー等対応など危機管理研修の実施
- 飲酒運転・交通事故防止、薬物乱用防止、猥褻行為、パワハラ行為、セクハラ行為防止等の**不祥事防止研修の実施**

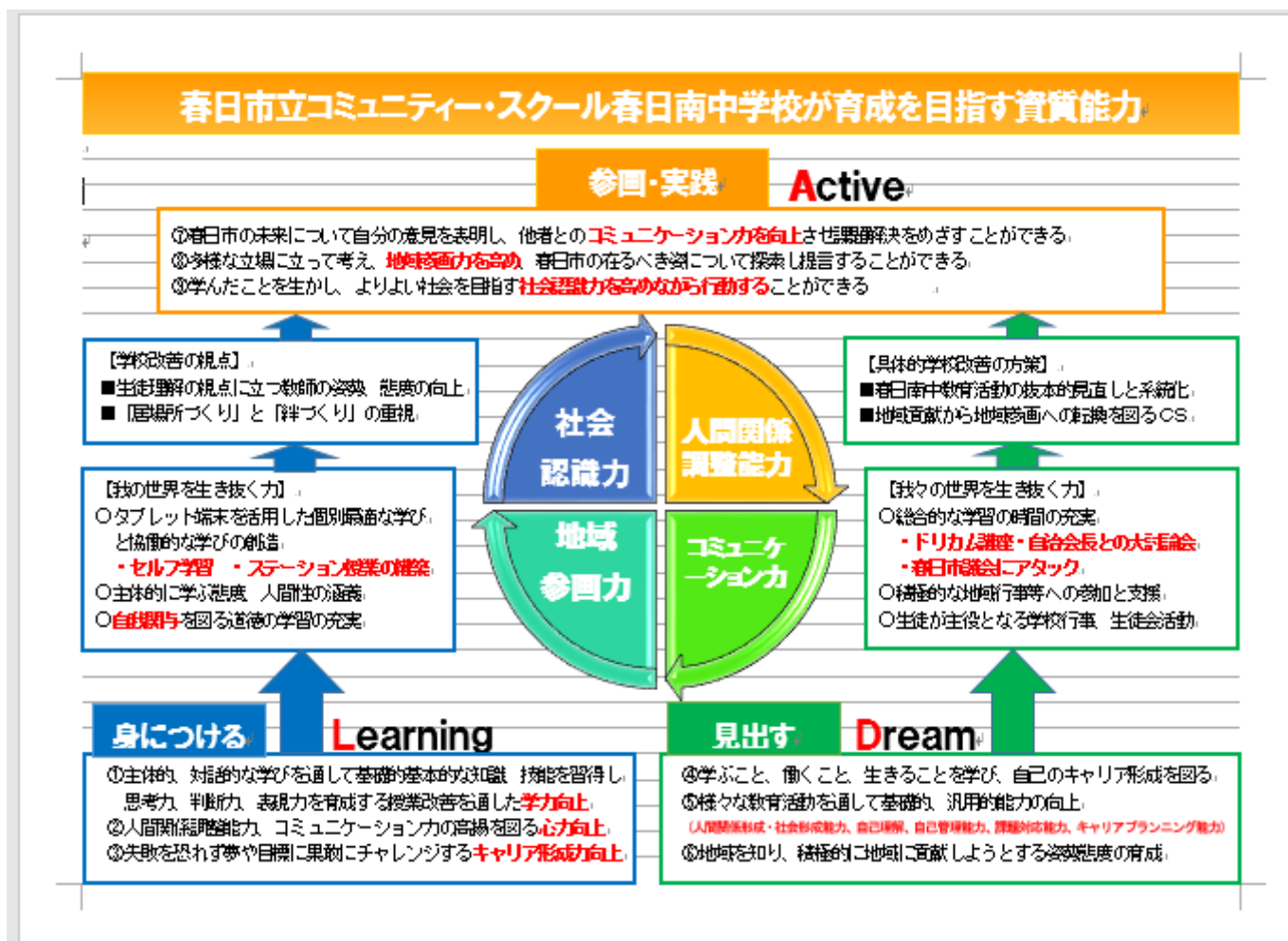
エ 小中連携の充実

- 「キング&プリンスプロジェクト」による小中連携の充実（児童生徒間交流 ・ 教師間交流）
・ **小中不登校対策委員会の年2回実施** ・ **春日南中バックヤードツアーの計画** ・ **教師間交流**

オ 令和5・6・7年度福岡県重点課題研究指定・委託事業の実施

- 「生徒指導提要（改訂版）」の内容を踏まえた教育活動の研究
- 安全・安心な風土の醸成（居場所づくりと絆づくり）
- ICTやFF調査等を活用した個々の状況把握とその状況に応じた支援
- 「発達支持的生徒指導」を推進する生徒指導体制の構築

(5) 春日南中学校が育成を目指す資質能力



(6) 学校経営ビジョンを具現化させる組織的な方策

①教育課程の充実

Learning (身につける)	
教頭 研究主任	<p>○ステーション授業構想、セルフ学習の充実実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究指導部による計画的な情報提供、校内研修会、公開授業の実施 ・各種調査実施による分析、改善課題の明確化 ・県重点課題中間発表会の実施 <p>○重点課題研究推准を具現化させる</p> <p>○検証データの確定と具体的な分析（「居場所づくり」「絆づくり」）⇒生徒指導主事と連携</p> <p>○セルフ学習を全教師が実践する</p>
教務主幹 学年主任 学力向上C	<p>○学力状況に関する積極的情報開示、学年主体の補充的な学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの有効活用の検討と実施⇒各教科への具体的な提案 ・各種テスト結果の分析並びに積極的な情報開示
各教科主任	<p>○「教科部会」の確実な実施と学力向上に向けた取組実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の協働化、授業において生徒の学力を確実に向上させる
生徒指導主事	<p>○生徒支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ報告の確実な実施 ・FF調査、シグマ調査、その他各調査の分析と改善方策の明確化
保健主事	<p>○健康教育、安全教育の充実、不登校解消に向けた取組実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策、病気予防、熱中症対策の取組の充実 ・不登校対策委員会の定期的な実施と出現率等の積極的な情報公開 ・保健委員会の実施
学年主任	<p>○適道德の授業の計画的で確実な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自我関与による授業実践 ・議論する道德実践
学年主任	<p>○キャリア形成のための計画的な学習活動の実施（職業講話・外部講師招聘しての講話実施等）</p>
教頭 教務主幹	<p>○柔軟な教育課程の編成・実施</p> <p>○学校評価の実施に基づくCAの重視（点検―改善のライン形成）</p>
Dream (見出す)	
学年主任	<p>○「やってみなはれ」の積極的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「成功の反対は、失敗ではない。成功の反対は、なんにもしないことなんだ」をコンセプトにして、教師が自己の失敗を語り、その失敗をどのように克服して生きてきたかを日常的に各学年で生徒に伝える。 ・人材育成の場とし、若い教師を生徒の前に立たせ学年集会等で自己を語らせる
教頭 教務主幹 学年主任	<p>○キャリア教育を通じた基礎的汎用的能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験活動では「学ぶこと、働くこと」の意義を理解する場の創設 ・「生きていく上で大切なもの・ことを学ぶ」場の創設 ・円滑な進学指導のスケジュール策定（願書点検等の日程調整）
参画・実践 (Active)	
進路指導主事 地域コーディネーター 学年主任	<p>○なんちゅう未来学の充実実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の充実（1年「自分を知る」2年「春日市の現在」3年「春日市の未来」） <p>○地域貢献から地域参画への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域親善大使の積極的な活用とリーダー育成 ・地域別集会の在り方の検討と再構築 <p>○地域学校協働本部の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職、進路指導主事、地域コーディネーター、PTA会長による協働本部の設立と各種活動の充実（学校バザーの充実、地域資源の有効活用）

教頭 進路指導主事	<p>○地域参画に向けた校内プロジェクトチームの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導主事の業務の軽減と前年度踏襲主義の打破 ・若手教師の人材登用
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

② 校務分掌組織・学年組織の機能化と組織運営の効率化

教頭 保健主事 生徒指導主事 特別支援C	<p>【学校の最重要解決課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不登校、特別支援についての課題解決のための情報連携、行動連携の充実 ・不登校生徒の対応並びに不登校予防の実践 (出現率5%目標) ・不登校対策ケース会議の定期的開催→全職員への周知→解決への継続行動実践 ・特別支援学級の生徒、通常学級における特別支援を要する生徒に対する教育活動の充実や、保護者・専門家との連携、教職員への周知・連携の充実 ・ラインとスタッフの確実な態勢づくり (スタッフ機能の強化を図り分散型リーダーの育成) <p>○月例(不登校、いじめ等) 報告書作成 の確実な作成・管理(月末) 保健主事(様式6-1, 2、マンツーマン) 不登校のまとめ 生徒主事(様式5) いじめ、いじめ速報・・・(教頭 様式1) の提出・管理</p> <p>○特別支援C0は、通級指導、レインボー相談等の窓口となり、情報共有に努める。</p> <p>○心の健康調査(親切)の確実な実施と状況の把握</p>
生徒指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめの早期発見・早期対応の徹底 ・いじめアンケートの実施 ・「いじめは絶対にゆるされない(認識)」「いじめはどこでも起こりうる(危機意識)」「いじめられた生徒を守り抜く(強い信念)」を全職員がもって対応する ○SC、SSWとの迅速な連携
生徒会担当	<p>○生徒会活動の精選による業務改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事、専門委員会等の見直し(特別活動の廃止等)
教頭 教務主幹	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革の積極的推進 ・職員会議30分終了の目標設定 ・スーパーWednesdayの確実な実施 ・分掌部会、学校行事、授業等のデータ共有化、職務の効率化
教頭 保健主事	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルの周知徹底 ・リスクマネジメント、クライシスマネジメントの視点で危機管理マニュアル等の付加・修正 ・アレルギー対応、不審者対応、熱中症対策、台風・大雨などの自然災害について迅速な対応
ICT担当	<p>○情報機器の活用推進やタブレットなど管理の徹底</p>

③ 教職員の人材育成

教頭	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の不祥事防止対策の研修、日常的な注意喚起 ・飲酒運転撲滅、体罰によらない生徒指導の徹底、不適切な画像・映像の流出防止、情報漏洩の防止についての日常的な注意喚起 ○各種研修会等への計画的な参加態勢づくり ・県教育センター・事務所・地教連主催の研修会、他校の研究発表会への参加 ・県・地教連主催の論文への応募、長期研修への積極的な派遣働きかけ
研究主任	<ul style="list-style-type: none"> ○一般研修の充実 ・体罰によらない生徒指導、生徒とのより良い人間関係づくり、自己指導能力を高める指導、保護者との信頼関係を築く接遇の対応、アレルギー等対応など危機管理研修の実施 ・飲酒運転・交通事故防止、薬物乱用防止、猥褻行為防止等の不祥事防止研修の実施
教頭 教務主幹	<ul style="list-style-type: none"> ○「南中出稽古」の計画的な実施 ○教育公務員・社会人としての基礎・基本や中学生を指導する上での資質、能力の日常的な育成
教務主幹	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な人的、外的資源の活用による教師の資質、能力の向上 ・保護者への授業研究の公開

④ 小学校、家庭・地域と連携したコミュニティ・スクールの推進

教頭 教務主幹 進路指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの推進 ・地域コーディネーターの活用計画を策定し、地域学校協働活動の推進 ・学校運営協議会内容に関する積極的な情報開示（たより・掲示板の充実） ○南中ブロック構想（小中連携）の具体化 ○春日南中「バックヤードツアー」の確実な実施 ○小中連携不登校対策委員会の年間2回の実施 ○小中教師間交流の推進実施
教頭 学年主任 ICT担当	<ul style="list-style-type: none"> ○学校HPによる積極的情報発信 ・学校「X」の日常的な配信 ・学校ブログを通じた学年の活動配信
教頭	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校への積極的情報発信 ・南中ブロック小中学校の保護者及び児童生徒、特に特別支援学級児童・保護者への積極的な進路情報の提供
生徒指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の確実な休養日の設定 ・部活動毎に保護者会を実施し顧問と保護者との連携強化

6 学校運営PDCAサイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
学力・心力 キャリア形成力	授業診断→改善				教師 生徒 評価	改善→授業診断→改善				教師 生徒 評価	計画		
重点課題研究	セルフ学習理論研修				教師 研修	セルフ学習全員実施				改善 課題 明確化	計画		
なんちゅう未来学	年間を通して「計画→実施→点検→改善」をそのつど評価												
コミュニティ・ スクール	実施				教師 生徒 保護者 評価	改善→実施				教師 生徒 保護者 評価	計画		

【教頭・主幹・主任主事の業務評価】

担当者	取組指標	結果指標
教頭業務	○学校運営の全体統括	学校評価全体3.2p以上
	○教育課程の進行・点検・改善に関する指導監督	教育課程80%以上の実施
	○不登校、特別支援、いじめについてのケース会議の効果的実施 ・不登校生徒の対応並びに不登校予防の実践（出現率5%目標）	出現率5%以下
	○働き方改革の積極的推進 ・会議の効率化等を通じた業務改善の確実な実施 ・分掌部会、学校行事、授業等のデータ共有化、職務の効率化	超過勤務者割合が前年度よりも低下
	○危機管理マニュアルの周知徹底 ・危機管理マニュアル等の付加・修正 ・アレルギー対応、不審者対応、熱中症対策、台風・大雨などの自然災害について迅速な対応	危機管理マニュアルの確実な改正と職員への周知の実施（年間2回）

	○ 教員の不祥事防止対策の研修、日常的な注意喚起 ・飲酒運転撲滅、体罰によらない生徒指導の徹底、不適切な画像等の流出防止 情報漏洩の防止についての日常的な注意喚起	週1回以上の確実な注意喚起の実施
	○各種研修会等への計画的な参加態勢づくり ・県教育センター・事務所・地教連主催の研修会、他校の研究発表会への参加 ・県・地教連主催の論文応募、長期研修への積極的な派遣働きかけ	・職員2割以上の研修会等への参加 ・職員2名以上の論文執筆
	○コミュニティ・スクールの推進 ・「地域貢献から地域参画への転換」の具体化 ・地域コーディネーターの活用計画を策定し、円滑な地域学校協働活動の推進 ・学校運営協議会の在り方の改善	・年間3回以上の地域学校協働活動の実施 ・前年度からの2カ所以上の具体的な改善実施
	○地域推進委員会・地域学校協働本部についての機構改革	改善事項の明確化
	○OJT研修「なんちゅう出稽古」の実践	3名程度の確実な実施
教務主幹業務	○カリキュラムマネジメントの実施 ・教科横断的な教育活動 ・PDCAによる編成実施 ・教育資源の積極的な活用	・3つの事項を確実に実施し成果と課題を明確化させる
	○各種テスト結果の分析並びに積極的な情報開示 ・確実な学力向上	各種検査1年53 2年53 3年55
	○なんちゅう未来学の編成と確実な実施 ・総合的な学習の時間のカリキュラム編成 ・	なんちゅう未来学の完全実施
	○働き方改革の積極的推進 ・会議の効率化等を通じた業務改善の確実な実施	職員会議30分以内終了4回以上達成
	○南中ブロック構想（小中連携）の充実 ・小中の主幹教諭の連携推進 ・「バックヤードツアー」「不登校対策」「教師間交流」の実施	三本柱の完全実施
	○校内OJT「東中塾教員版」の実践	
担当者	取組指標	結果指標
学年主任業務	○学年部の日常的な円滑運営 ○学年職員との報告、連絡、相談体制の確実な確立 ○学年運営における前年度踏襲主義の打破（学年行事の改善等）	・面談を通して学年3分の2以上の職員が主任を評価する ・年間2つ以上の新たな取り組みの創設
学年主任業務	○学力を伸ばす継続的な取組推進（非認知能力の育成を通じた学力向上）	・2月診断で筑紫地区平均以上（1・2年） ・10月11月診断で筑紫地区平均以上（3年）
	○タブレットのアプリ等を積極的に活用した家庭学習等の推進 ○採点システムの積極的な活用推進	・年間2回以上の実施 ・学年職員8割以上の活用
	○学校組織の縦のラインと横のラインを円滑に結ぶファシリテーターとしての自覚と責任ある業務遂行 ○なんちゅう未来学「自分を深掘りしよう」「自治会長との大討論会」「市議会にアタック」の実施	・業績評価A以上 ・完全実施

担当者	取組指標	結果指標
研究主任業務	<ul style="list-style-type: none"> ○県重点課題研究指定の推進 ・ステーション授業構想、セルフ学習の全職員での実践 ・各種調査の実施と分析⇒生徒指導主事との連携 (FF調査・シグマ調査・生徒学校評価・その他の分析) ・中間報告会の計画策定と実施 ○筑紫地区人権教育研究発表の実施 ・教頭、人権担当との連携による公開授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・メソッド作成に向けた目処を具体的に構築して説明する
担当者	取組指標	結果指標
保健主事業務	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校状況について情報収集し、不登校対策委員会で解決への方策を構築する。 ・不登校生徒の対応並びに不登校予防の実践（出現率2%目標） ・不登校対策委員会の実施→全職員への周知→解決への継続実践 	不登校出現率5%以下
	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルの周知徹底 ・リスクマネジメント、クライシスマネジメントの視点で危機管理マニュアル等の付加・修正（アレルギー対応、熱中症対策、コロナ予防対応等） 	マニュアルの年間2回以上の職員への周知の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ○一般研修の充実 ・アレルギー等対応など危機管理研修の実施 	年度当初の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育、安全教育の充実 	年間を通した各種学習の計画実施
担当者	取組指標	結果指標
生徒指導主事業務	<ul style="list-style-type: none"> ○学年生徒支援の掌握と情報の共有化 ○いじめの早期発見・早期対応の徹底。（報告書の確実な作成） ・いじめアンケートの確実な実施 ・重点課題関係の調査実施と分析、具体的改善 ・「いじめは絶対にゆるされない（認識）」「いじめはどこでも起こりうる（危機意識）」「いじめられた生徒を守り抜く（強い信念）」を日常的に周知徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな案件でも報告書を作成して提出100% ・業績評価で生徒指導関係評価A以上 ・FF調査（年間2回）で後期結果の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒支援委員会の運営 ・SC、SSWとの迅速な連携 ・生徒指導主事と学年部の確実なライン形成 ・部活動担当、生徒会担当との情報連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒支援部会で日常的に各分掌との情報を提供する
担当者	取組指標	結果指標
進路指導主事業務	<ul style="list-style-type: none"> ○地域貢献から地域参画への転換の具体的な実践 ・なんちゅう未来学の実施 ・生徒の積極的な地域行事参加 ・地域コーディネーターと連携した地域学校協働活動の構築 ・学校運営協議会の企画運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来学完全実施 ・春日市クリーン作戦参加生徒60%以上 ・地域学校協働活動の創設
担当者	取組指標	結果指標
各教科主任業務	<ul style="list-style-type: none"> ○教科年間指導計画作成と進行管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・未履修を出さない
	<ul style="list-style-type: none"> ○個別最適な学びの実施（指導の個別化、学習の個性化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教師の公開授業実施
	<ul style="list-style-type: none"> ○「セルフ学習」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題の明確化
担当者	取組指標	結果指標
学力向上C業務	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プラン策定 	各種テストで確実に前年度よりも向上
	<ul style="list-style-type: none"> ○教務主幹と連携して学力分析策定 	
担当者	取組指標	結果指標
地域担当教諭業務	<ul style="list-style-type: none"> ○社会認識力の向上を図るための地域参画活動の構築 ・地域親善大使の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒70%以上の地域行事への参加

	○地域CDの業務内容策定と連携 ○地域学校協働本部の推進	
担当者	取組指標	結果指標
生徒会担当業務	○生徒会活動の精選と充実	2つ以上のスクラップ
担当者	取組指標	結果指標
特別支援C業務	○特別支援教育の状況把握と主任会での報告の徹底 ○関係書類作成、関係機関等との積極的連携	毎月の職員会議で特別支援の状況報告を年間10回

5 その他学校経営の推進を図るための具体的な方策

【不祥事防止、撲滅への取組概要】

- ① 年度当初において不祥事の概要等についての説明指示の実施（不祥事の種類・懲戒処分の指針）
- ② 日常的な場面での不祥事防止に向けた啓発の実施
- ③ 面談時において不祥事防止に関する個別指導の実施
- ④ リスクマネジメントとクライシスマネジメントの体制整備
- ⑤ 若年教師、講師を対象とした校内研修の実施
- ⑥ 年間を通して計画的な『不祥事防止研修』の実施（4月・7月・12月の実施予定）

春日南中学校教職員三箇条

【理念】

生徒に信頼される教師の必須要件は言行一致

教師は常に生徒のモデルである

指導したら、その倍、励まし賞賛を！

【実践】

「感動する授業」を実践する春日南中教職員

個別最適な学び、協働的な学びを通して、生徒が
「わかった！」 「できた！」 と感動する授業実践

【協働】

協働できる春日南中教職員

「目的」「目標」を明確に共有する中から、具体的な
「手段」がみえる。木を見て森を見ようとしない狭い
視野を捨て、全体を見渡す広い度量をもつべき！